

2020年3月期 連結決算実績

(決算補足説明資料)

株式会社 **ヤギ**
(証券コード 7460)

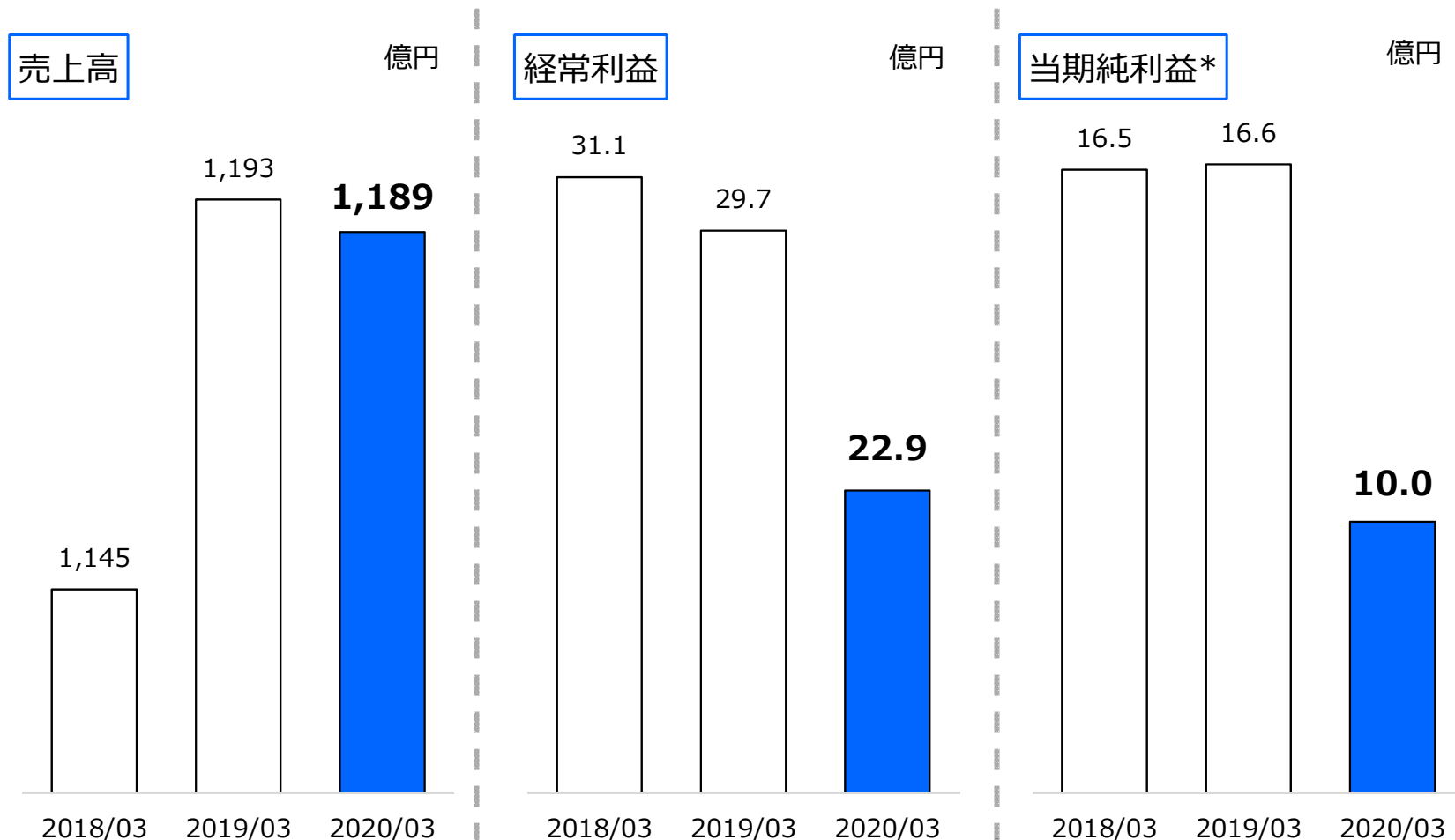
2020年5月13日

将来見通しに関する注意事項：本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 2020年3月期 決算の概要
2. 分野別売上高の推移
3. 経常利益増減要因
4. バランスシートの状況
5. キャッシュフローの状況
6. 2021年3月期 業績予想
7. 中期経営計画の進捗と数値目標

1.2020年3月期 決算の概要【連結】

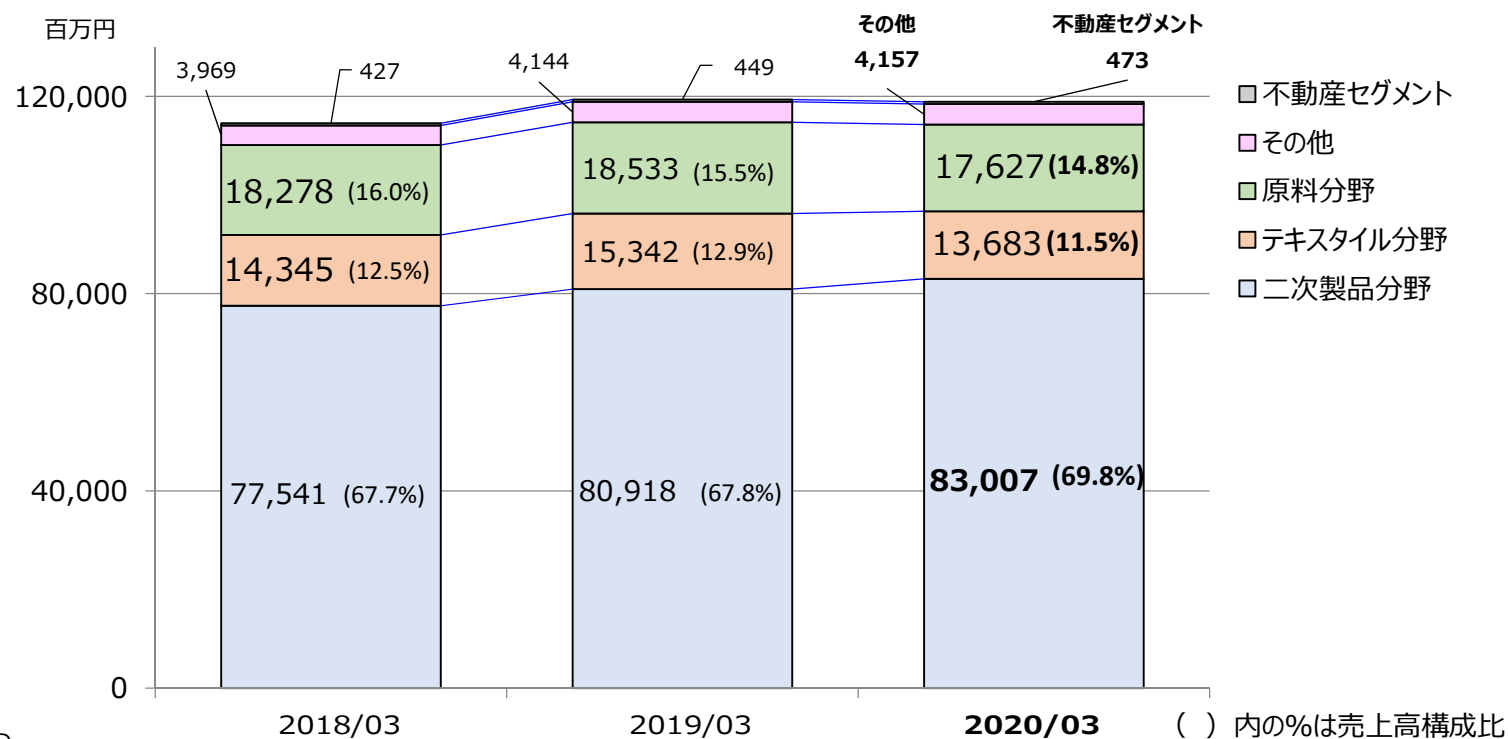
- 売上高1,189億円（前期比▲0.4%）、経常利益22.9億円（▲23.0%）、当期純利益10億円（▲39.3%）と減収減益（経常利益の増減要因はP.3をご参照ください）
- とくに当期純利益は、関係会社における事業構造改革に向けた貸倒引当金繰入額等の計上により、大きく減少



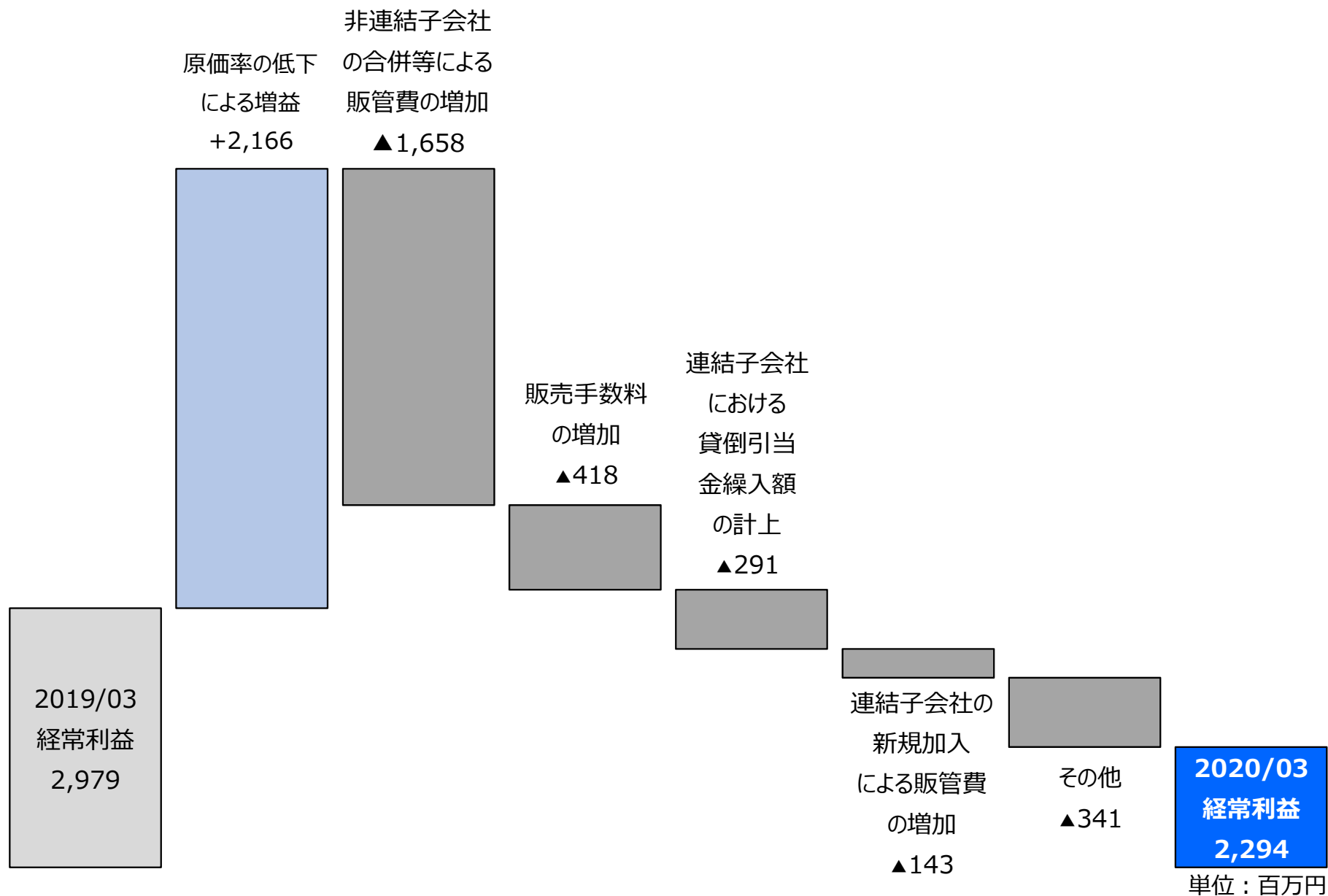
*親会社株主に帰属する当期純利益（以下同じ）

2. 分野別売上高の推移【連結】

- 二次製品分野は830億円を超え（前期比増減+2.6%）、売上高構成比は69.8%
- 原料分野は減収（▲4.9%）構成比は14.8%、テキスタイル分野も減収（▲10.8%）構成比は11.5%
- 現中期計画の初年度である2018/03期からの3年間で、売上高は+43.8億円（2018/03比 増減+3.8%）
- 分野別では、原料・テキスタイル分野は合計で▲13億円（2018/03比 増減▲4.0%）、一方で二次製品分野は+54.6億円（同 +7.0%）

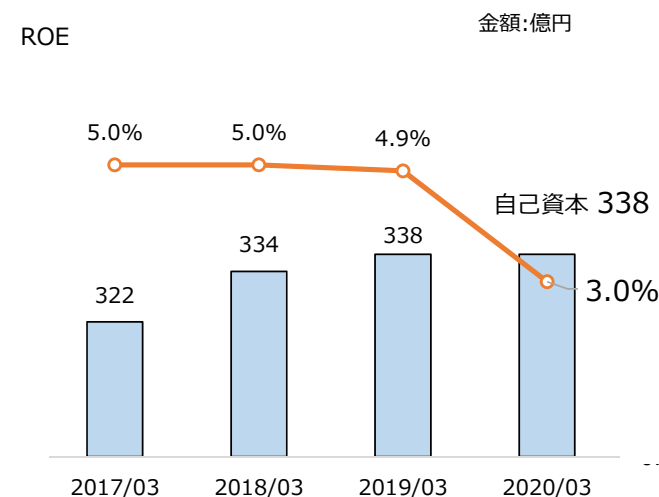


3. 経常利益増減要因【連結】

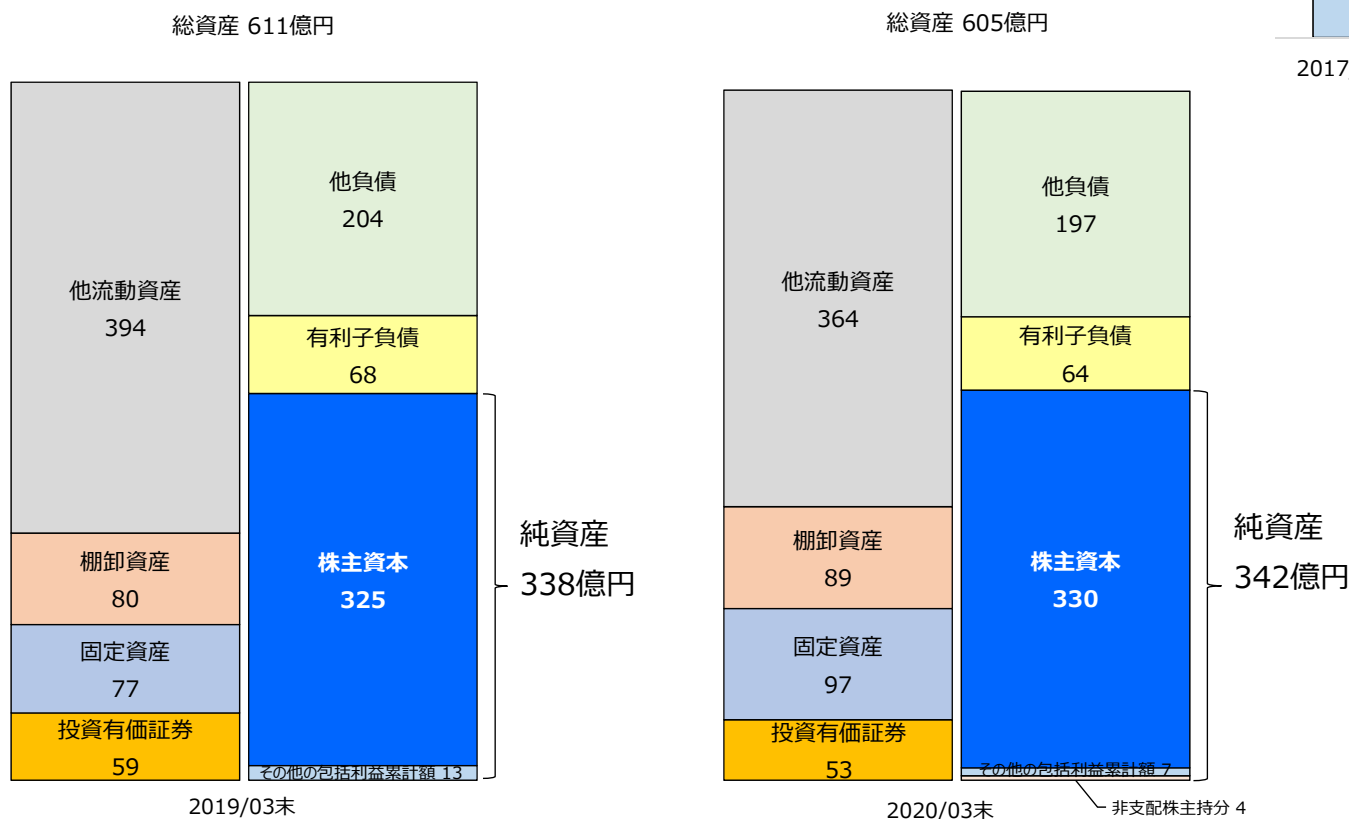


4. バランスシートの状況【連結】

- 純資産は+3.8億円（株主資本は+5.4億円）
- 自己資本比率は55.9%と0.5ポイント上昇
- 親会社株主に帰属する当期純利益が大きく減少し ROEは1.9ポイント低下



	2019/03	2020/03
自己資本比率	55.4%	55.9%



5. キャッシュフローの状況【連結】

- 現金及び現金同等物は売上債権の減少等により4,448百万円となり、前期比1,369百万円（+44.5%）増加

	百万円		
	2019/03	2020/03	
税金等調整前当期純利益	2,822	2,031	
減価償却費	254	371	
持分法による投資損失	181	3	
金利他	▲ 562	▲ 1,416	
小計	2,695	989	
運転資本増減	▲ 1,468	3,084	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,227	4,073	税金等調整前当期純利益・売上債権の減少 等
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 699	▲ 1,647	無形固定資産の取得・関係会社株式の取得 等
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 957	▲ 1,516	短期借入金の返済・中間配当金の支払 等
現金及び現金同等物の増減額	▲ 432	907	
現金及び現金同等物の期首残高	3,511	3,079	
現金及び現金同等物の期末残高	3,079	4,448	

6.2021年3月期 業績予想【連結】

- 2021年3月期業績予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響について、現時点において見通すことが困難であるため、未定としております

今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示いたします

金額：百万円

	2020/03	2021/03 予想	前期比 (増減)	増減率
売上高	118,948	—	—	—
営業利益	2,348	—	—	—
営業利益率	2.0%	—	—	—
経常利益	2,294	—	—	—
経常利益率	1.9%	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,009	—	—	—
当期純利益率	0.8%	—	—	—
1株当たり当期純利益	122.06	—	—	—
配当金	48.00	—	—	—
配当性向	39.3%	—	—	—

7.中期経営計画の進捗と数値目標【連結】

- 「SPARKS2020」において、重点施策「総合力発揮の強化」「新領域への挑戦」「構造改革の実行」を推進
- 原料から二次製品分野及びグループ会社と互いの強みを活かし総合力発揮を強化
- 新領域への挑戦のため「戦略事業推進部門」を設置し事業投資を加速
- 最終年度は、投資の先行や、新型コロナウイルス感染症の影響等により経常利益は大きく当初計画に未達
- 新中期計画「MAKE A DREAM,1+∞」では、最終年度（2023/03）までに過去最高となる経常利益36億円を目指す（新中期計画については別資料「中期経営計画」をご参照ください）

